

隣保館だより



高齢者誕生日プレゼントづくり



心を込めて、プレゼントを作る

10月8日、下榎集会所で日野ボランティア・ネットワークの皆さんと、10月に誕生日を迎える高齢者へのプレゼント作りをしました。

10月のプレゼントは、フラワーアレンジメントやバースデイカードのほか、あめなどちよっとしたものをに入れるのにちょうど良い手作り巾着でした。

当日は24人の参加があり、一つ一つ丁寧に仕上げた花などのプレゼントを町内の対象者に届けました。昨年も参加してくれた小学生は、花のプレゼントはもちろんです、訪問を喜んでもらい、とてもうれしそうでした。

参加者は、このような機会の中で多くの交流を経験し、とてもあたたかい気持ちになりました。

敬老の集い ～いつまでもお元気で～

10月9日、老人憩の家を会場に、手作り敬老会が開かれました。

これは、75歳以上の高齢者の皆さんへの敬意と感謝を表し、長寿をお祝いしようという企画。下榎2区女性部による手作り料理に舌鼓を打ち、カラオケなどの余興で楽しいひと時を過ごしました。

また、テーブルには日野ボラネットの皆さんが作ったフラワーアレンジメントが飾られ、一層華やかな敬老の集いとなりました。

高齢化社会の中で、お互い

協力し合いながら暮らしやすい地域づくりを目指して、来年も元気に『敬老の集い』に参加していただけることを願います。



盛大に敬老会が開かれる

秋の収穫祭 ～おいもがいっぱい～

榎の実学習会の児童が10月11日、サツマイモ掘りを行いました。

6月に植えたサツマイモは大きく育ち、豊作に大喜び。深く埋もれた芋を掘るのに、とても苦戦していた児童もいました。

収穫後は、ふかし芋や、揚げたサツマイモにココナッツパウダーをまぶしたおやつを作り、畑を提供してくださった地域の人に感謝しながらおいしく食べました。



歓声をあげて芋掘りを楽しむ

11月の学習講座予定

★セラバンド体操

【講師】 高橋伸也さん
 【日時】 12月14日(水) 10:00～
 【場所】 老人憩の家

★生け花

【講師】 生田清子さん(草月流)
 【日時】 12月は正月用の花を生けます。日時は調整中です。
 【場所】 下榎集会所

※花代が必要です

学習講座はどなたでも参加できます。

【申込みおよび問合せ】

下榎隣保館(電話72-1191)まで

第35回

新春囲碁・将棋大会

参加者を募集します!

新春恒例の囲碁・将棋大会の参加者を募集します。どうぞ、ふるってご参加ください。

【日時】 平成24年1月8日(日)

受付11午前8時30分～

開会11午前9時～

【場所】 老人憩の家

▼参加費など詳しくは、下榎隣保館まで



小地域座談会を全自治会で



黒坂3区小地域座談会の様子

小地域座談会は誰もの人権が尊重された社会づくりをめざして、みんなで話し合う活動です。

私たちの暮らしの中にはさまざまな人権課題があります。また、それが地域の課題にもなっています。人はどんな状況や状態になっても大切にされ、安全・安心に暮らすという権利がありますが、同時に私たちにはそのような社会を創造していくための社会の構成員としての活動が求められます。

小地域座談会の話し合いは、その大切な活動のひとつです。言い換えれば私たちの生き方や暮らし方、また社会の仕組みを良くしていくための地域づくり活動そのものと言えます。

推進員研修会・打合わせ会を開催

このような視点で本年度も11月からの小地域座談会推進期間を前に、自治会長ならびに推進員の皆さんの合同研修会・打合わせ会を開催し（10月28日／日野町山村開発センター、11月1日／日野町公民館）座談会の目標やテーマ、また進め方などについて共通理解を深めました。

平成23年度小地域座談会のテーマは

本年度のテーマは、10月19日に町文化センターで開かれた、第36回町人権・同和教育研究集会に併せて『人権尊重のまちづくりをしよう「さまざまな地域課題から、人権尊重社会の仕組みを考えよう」』に決定し、地域の課題について話し合っていたいただくこととしました。



話しやすく少人数に分かれる（黒坂3区）

～助け上手、助けられ上手になろう～

座談会では、地域で問題となっていることを皆で話し合い共有して、その課題の解決のために一人ひとりが、また家庭や地域ではどうしたらよいのか、『助け上手、助けられ上手になろう』をキーワードとして話し合っていたいだきたいと思ひます。

高齢化が進行して

今、大きな課題として人口の高齢化と過疎・少子化があります。

9月末の町全人口は3,753人、内65歳以上人口は1,522人（40.55%）、75歳以上人口は964人（25.69%）となっています。（住民基本台帳より）

また、一人や夫婦など65歳以上の高齢者だけで暮らしている人は751人（20.01%）で、5人に1人となっています。（町調べ）

これからもこの傾向は進行するものと思われ、暮らしや地域コミュニティの大きな不安となってきました。

このような社会では、さまざまな暮らしの問題があり、それは同時に人権課題にもつながっています。

一番身近な課題

人口高齢・少子・過疎化の問題から生じる私たちの暮らしの課題は、高齢者だけの問題ではなく、私たちみんなの暮らし方の課題として考えなければならない問題ではないでしょうか。

このようなことから、座談会で話し合っていたいただく当日のテーマを『一人暮らしでも孤立しない地域づくり』としました。

本年度はこのテーマを基に、一人暮らしで課題になることを挙げていただき、自分や家族で、そして地域ではどのように取り組むか、『助け上手、助けられ上手』をキーワードに話し合い、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会について考えていただきたいと思います。